

9月13日(月)「2学期の目標を考えよう」



元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

先週の金曜日まで原則オンライン学習でしたが、いよいよ今日から本格的に2学期がスタートしました。まだ夏休みの気持ちが抜けない人もいるかもしれませんが、早く元のペースに戻していきましょう。

さて今日は、夏休み中に行われたオリンピック・パラリンピック競技大会についてお話しします。

まずはじめに問題です。今年のオリンピックで日本はメダルを何個取ったでしょうか。金・銀・銅のメダルを合わせた数です。

ヒント、十の位は5です。

正解は・・・58個でした。金メダル27個、銀メダル14個、銅メダル17個でした。金メダルが一番多いのですね。

ちなみにパラリンピックは全部で51個でした。メダルの数が多ければいいというわけではありませんが、どちらもすばらしい活躍ですね。

みなさんは、どの競技が心に残りましたか。

校長先生はオリンピックでは、卓球の水谷隼選手と伊藤美誠選手のダブルスが心に残りました。世界の強豪を相手に、あれよあれよという間に決勝まで勝ち進み、ついには優勝しました。二人は住んでいる家が近く、幼なじみだそうです。息がぴったり合っていましたね。練習量が多いことで有名な伊藤選手が年上の水谷選手に声を掛け、練習に練習を重ねた結果が優勝でした。すばらしい試合でした。

パラリンピックでは、感動する場面が本当に多く、1つには絞り切れないくらいです。生まれつき身体が不自由だった方もいますが、大きくなってから事故で手や足を失ったり、目が見えなくなったりと、後から障害を負った方もいました。様々な障害を乗り越えて、スポーツに全力を尽くす姿は輝いていました。車いすテニスで優勝した国枝選手は、大きなけがを乗り越えての金メダルでした。国枝選手は「試合に負けた数だけ強くなる」と話していました。負けると「こうすればよかった」と新しいアイデアが浮かんできて、できなかったことができるようになるのだそうです。負けることも大切なんですね。負けて悔しいだけで終わってはいけないのだと教えてもらいました。

2学期は一年の中でも一番長い学期です。何か一つでいいので、目標をもって過ごしていきましょう。

「漢字練習をがんばる」「宿題を忘れない」「家の手伝いをする」など、どんなことでもいいです。目標をもつと夢がかなうと言われるます。ぜひ自分ならではの目標をたててください。

それではこれで全校朝会の校長先生のお話を終わります。(礼)